

## 令和4年4月市長定例記者会見

日 時：令和4年4月5日（火） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、  
北日本放送、富山テレビ放送、エフエムいみず、庄東タイムス、  
ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、  
未来創造課長、農林水産課長、地域福祉課長、  
都市計画課長、政策推進課長、河川・港湾課長

### ○質疑応答の概要

Q1. もみ殻シリカ灰について、全国初の登録ということであるが、どこがど  
ういう風な形で登録となるのか。

A1. もみ殻を原料とした普通肥料の登録が全国初であり、国に対して申請し、  
登録されるものである。

Q2. サープレイ足利温泉について、「福祉×温泉×食堂の施設」とあるが、  
福祉はどういった部分か。

A2. サープレイ足利温泉では、介護サービス、障害福祉サービスの就労継続  
支援B型事業を実施する予定である。就労継続支援B型事業では、障害  
によって企業に就職することが困難な方に向けて、生活支援等をしながら  
働く場所を提供する。働く場所として、温泉事業・食堂事業・健康支  
援事業の展開をしていく予定で、就労支援・介護支援は、7月に開始でき  
るよう準備を進めていると聞いている。

Q 3. 足洗滌公園の整備にかかった事業費はどのくらいか。

A 3. ドックランは設計等で約 330 万円 (R2)、整備費として約 3,600 万円 (R3) ほどかかっており、設計と合わせると約 4,000 万円弱となる。実施済み事業費総額は約 6,700 万円あまりであり、今後実施するトイレ・園路の整備は約 9,000 万円見込んでいる。全体の事業費は約 1 億 5,700～800 万円となる。

Q 4. ドックランの利用料は当面无料とあるが、これはどういう理由か。今後の利用料についてはどう考えているか。

A 4. まずは温泉施設と一体の利用をすることで、賑わい創出や人との交流を生むという効果を見込んでいることから、利用料金については設定をしていない。まずは使っていただくということを念頭に、当面の間、無料ということにさせていただいた。維持管理費等が必要になってくることから、今後利用料を設定することも想定している。

Q 5. べいぐるんとべいかーとの利用実績を教えてください。

A 5. ・べいぐるん

令和 3 年度 前期 (無料運行) 2,789 人の利用

後期 (有料運行) 1,525 人、通期 4,314 人の利用

令和 2 年度 (無料運行) 平日デマンド運行 197 人、休日 1,076 人の利用

・べいかーと 令和 3 年度に実証運行を実施 58 件の利用

Q 6. べいかーと、べいぐるんの利用状況を踏まえ、周辺地域についてどのような地域づくりを考えているか。

A 6. クロスベイ新湊を拠点として、内川周辺、海王丸パークときときと市場あたりまでを運行エリアとしている。海王丸パークときときと市場には、年間多くの方にお越しいただいており、コロナ禍で人数が減ったとはいえ、年間 50 万人以上の方がお越しくださっている。海王丸パークときときと市場へ来た人に、内川周辺などの新湊の市街地にも足を伸ばしていただき、周遊をしていただく、というのがべいぐるん、べいかーと・べいとらいくの目的の一つである。

また、観光だけではなく、平日は地域の移動を困難に感じておられるご高齢の方に、買い物や医療機関、金融機関への移動に使っていただくことを念頭に実証運行を行っていく。

今後については、内川周辺の空き家をリノベーションして店舗を構えたり、移住を検討されたりという方が増えてきている。内川周辺の素晴らしい景観や引き継がれてきた曳山の文化等、地域の資源を活かしながら賑わい創出に向けた取り組みを進めてまいりたい。

Q 7. べいぐるん、べいかーと・べいとらいくについて、実証運行となっているが、途中で止めることはあるのか？

A 7. 実証運行とさせていただいているが、令和 5 年から本格運行の予定である。

Q 8. ウクライナ人の受け入れについて、今後何か発表していくことはあるか。また、射水市在住のウクライナ人について、家族数が分かれば知りたい。

A 8. 本市在住のウクライナ出身の方に対して、3月22日にお一人目のヒアリングをさせていただいた。ご家族とは連絡は取れている状況であるが、ロシア軍からとみられる攻撃の音が聞こえる、逼迫した状況であるとお聞きした。しかし、家族の病気が治療中であることや渡航費といった部分が課題で、避難については慎重にならざるを得ないという結果だった。今後もヒアリングで求められる支援を把握させていただき、寄り添った支援を進めていきたい。また、世帯数についての発言は控えさせていただく。

Q 9. サープレイ足洗温泉の完成が予定から約 1 年間遅れたのはなぜか。また、食堂がまだオープンできないのはなぜか。

A 9. 完成が遅れた要因としては、現地で工事が行われた際に、市で把握していなかった地下埋設物があった。それらの処理と費用について協議の時間を要し、方針決定後も埋設物の処理にまた時間がかかった。食堂のオープンが遅れることについては、飲食業界に係る人員の確保がサープレイ足洗温泉に関わらず難しいことが原因である。

Q 10. フットボールセンターへ初めて来る方が迷わないよう、誘導表示等を設置する予定はあるか。

A 10. 現在は設置されていないが、今後利用された方の声を聞きながら検討していきたい。

Q 11. 先日オープンした水戸田のサテライトオフィスにおける、首都圏への発信の強化についてお伺いしたい。

A 11. 運営事業者と連携を図りながら効果的な発信をしていきたいと考えている。具体的には無料動画に広告を入れたり、実際に合宿等を行っている機関に直接働きかけたり、効果的な取り組みというものをしっかり考えていきたい。

Q 12. 厚生連高岡病院で最新の PET CT が導入されたが、射水市で利用促進に向けた働きかけや助成の予定はあるか。

A 12. 市内の皆さんの利用状況等を注視し、市としての判断をさせていただければと考える。

Q 1 3. ウクライナ人へのヒアリングのやり方について、実際のやり取りではなく、アンケート形式で行っていくという話で合っているか。

A 1 3. 実際に直接お話を聞くのが一番良いという考え方ではいるが、お一人おひとりに話を聞くために、時間を合わせることやアクセスに時間がかかってくる。まずは早く市内に住まれている方の意見を聞くという意味でアンケート形式をとることを考えている。

Q 1 4. ウクライナ人への対応について、緊急性を要する話かと思うが、今後の市の意向をお教えいただきたい。

A 1 4. 人道的な支援ということで緊急性を要するという判断も考え方としてはあると思うが、直接的支援ではなく間接的支援ということから、個人情報をも目的外に利用することは難しいと考える。連日の報道で、大変厳しさを増している状況を認識しながら、できることは何なのか、求められることは何なのか、すぐにでもできることはすぐにでも行いたい、という思いでいる。なかなか動きが上手くとれていないことはもどかしいところではあるが、そういった思いを持ちながら支援についてはしっかり取り組んでまいりたい。